

エシカル消費普及促進事業

鳴門市 市民協働推進課

事業内容

「エシカル消費」という言葉が浸透しつつあるなか、市民の多くはまだ言葉の意味や、言葉自体を知らない状況にあると考え、イベント等で配布する啓発グッズや名入れパンフレット等を作成し、「エシカル消費」について知るきっかけとしてもらい、最終的には日常生活の中で「エシカル消費」を実践する市民を増やすことを目的に、啓発グッズ等の配布事業を実施している。また、令和2年度には本事業とは別に、更にエシカル消費を意識する機会を増やすことができるように、協力を頂いた市内スーパー等9店舗に、エシカル消費（地産地消）啓発ポップを設置してもらっている。

実施年度	平成30年度～継続中
予算	200千円（令和元年度）
消費者行政強化 交付金活用額	83千円（令和元年度）
対象	主に鳴門市民



啓発ポップ

啓発グッズ
(エコバッグ・パンフレット)

事業の特徴・ポイント

グッズやパンフレットは手に取りやすいため、抵抗なく受け取ってもらうことができ、周知がしやすい。また、あらゆる場面を通じて配布することが可能なため、広く周知することができる。

期待される効果

- ・「エシカル消費」という言葉を知ってもらうこと。
- ・「エシカル消費」の意味を知ってもらい、日常生活の中で「エシカル消費」を実践する市民が増えること。

エシカル消費啓発のために工夫した点・今後の課題等

【エシカル消費普及促進事業】

平成30年度から事業を始めたが、当時はまだ「エシカル消費」という言葉自体が普及していないと感じた。そのため、内容を細かく説明するのではなく、単語自体を知ってもらう活動から始めた。令和元年度には名入れパンフレットを作成し、エシカル消費は「日常の簡単などころから始められる」ということを伝えられるよう、市内のイベントや出前講座、交通安全教室といった地域での集会を通じて広く配布した。エシカル消費は、市民の実生活において取組に対する効果を直接的に感じるのが難しいため、継続して周知することが大切と考える。

【エシカル消費啓発ポップ設置】

エシカル消費にはサービスも含まれるが、消費者による日々の買物が大きな比重を占めており、その中でも買物において実践しやすいエシカル消費が「地産地消」と考えた。そこで、日常的に多くの人が買物に訪れるスーパーや地場商品を扱う直売所にポップを設置してもらえるよう依頼した。1枚のポップにすることで買物の際に目に付き、地産地消が社会貢献（エシカル消費）につながることを知ってもらえるように工夫した。

事業の効果、成果

【食品ロス削減に関する講演会時の「エシカル消費」についてのアンケート結果】

- ・「エシカル消費という言葉を知っているか」の問いに、「知っている」「聞いたことはあるが言葉の意味は知らなかった」の回答が53%(H30)から87%(R2)に上昇した。
- ・「エシカル消費に対して興味があるか」の問いに、「非常に興味がある」「ある程度興味がある」の回答が87%(H30)から93%(R2)に上昇した。